

演習問題③ 宿泊を伴う旅行の通勤調整

旅行期間：8月25日（水）～8月26日（木） 2日1泊
 出発地：自宅（最寄駅：八戸駅）
 用務地：ホテルA（最寄駅：弘前駅 所在地：青森県弘前市）
 帰着地：三八小学校（最寄駅：八戸駅）
 通勤手当認定状況：四輪自動車（片道8.2km）
 路程：8月25日（水）
 自宅→7.3km（私用自動車）→八戸駅→（はやぶさ）→新青森駅→（奥羽本線）→弘前駅→（徒歩）→ホテルA
 8月26日（木）
 ホテルA→（徒歩）→弘前駅→（特急つがる※）→新青森駅→（はやぶさ）→八戸駅
 →17.7km（私用自動車）→学校
 ※ 公務上必要であると認められ、帰路の弘前～新青森間は特急つがるを利用。

参考：旅費関係質疑応答集（平成31年4月）P12、40
 講義資料P1～4、7～8
 旅費請求に係る事務処理について（令和3年2月24日付け青三教第2058号）資料3の9（1）、（2）

- （解説）・出発地が自宅のため、通勤調整を行う。
- ・旅行出発日の自動車使用距離から片道の通勤手当相当距離を減額調整する。マイナスとなるため0km。
 - ・鉄道路程が100km以上かつ特急区間の路程が50km以上100km未満のため、指定席特急料金での支給となる。
 - ・8月25日（水）、26日（木）は繁忙期のため、指定席特急料金は通常期の200円増しとなる。
 - ・宿泊を伴う県内旅行のため、1日につき200円の旅行雑費が支給される。
 - ・乙地方宿泊のため、1夜当たり9,800円の宿泊料が支給される。
 - ・在来線の特急・急行列車から新幹線に乗り継いでいるため、在来線の特急・急行料金は半額になる。
 - ・備考欄に「私用自動車使用」および通勤手当認定状況を記入すること。

（補足）・公務上必要であると認められて新青森～弘前間で特急つがるを利用した場合は、自由席特急料金を支給する。

備考	私用自動車使用										7.3km-8.2km=-0.9km=0km (調整の結果、マイナスとなる場合は0km)	
通勤手当認定状況：四輪自動車（片道8.2km）												
(旅費額計算欄)												
月日	出 発 地	経 由 地	到 着 地	鉄 道 賃			車		その他 (G)	摘 要		
				路 程	運 賃 (C)	急行料金 (D)	定 額 (E)	額 (F)				
8/25	自宅	八戸駅 新青森駅		81.8	1,980	2,600	7.3 -8.2			繁忙期割増 通勤手当相当分		
		弘前駅	ホテルA	33.5						徒歩		
8/26	ホテルA	弘前駅		33.5		260				徒歩		
		新青森駅 八戸駅	三八小学校	81.8	1,980	2,600	17.7			繁忙期割増		
区分	計 (A+B+C+D+E+F+G)		宿 泊 料 (A)	旅 行 雑 費 (B)		円	円	円	円			
1	20,045		1	9,800	2	400	3,960	5,460	17.7			
2									円			
3									425			
乙地方のため 宿泊料9,800円												